

鹿児島県知財総合支援窓口

無料 相談無料・訪問相談・専門家派遣・秘密厳守
まずは、お電話ください！

予約制

常設窓口

鹿児島県知財総合支援窓口

【開設時間】月～金曜日 8:30～17:15
(祝祭日、年末年始を除く)

※ 専門家による窓口相談を、週1～2回開催

〒892-0821 鹿児島市名山町9番1号(県産業会館 中2階)
TEL: 099-295-0270 FAX: 099-295-0274
E-mail: chizai@ikic.or.jp

【窓口までのアクセス】

市電：最寄り電停／朝日通り
バス：最寄りバス停／金生町・市役所前
車でお越しの方：駐車場には限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

※この事業は(公社)鹿児島県工業倶楽部が、
(独)工業所有権情報・研修館から委託され実施しています。



予約制

外部窓口 専門家への相談も可

鹿児島県工業技術センター

【毎月第3火曜日】

霧島市隼人町小田 1445-1

鹿児島県大隅加工技術研究センター

【毎月第3金曜日】

鹿屋市串良町細山田 4938

川内商工会議所

【2ヶ月に1回】

薩摩川内市神田町 3-25

中小企業の「稼ぐ力」を支えます
INPIT 鹿児島県 知財総合支援窓口
中小企業の皆様が抱える事業アイデアからビジネス展開まで知的財産に関するお悩みや課題解決のために支援します！
※個人事業者・創業予定者の方の御相談も承ります

TEL 099-295-0270
【開設時間】8:30～17:15 月～金(除く祝祭日、年末年始)
FAX 099-295-0274 E-mail chizai@ikic.or.jp
HP https://chizai-portal.inpit.go.jp/madoguchi/kagoshima/

TEL 099-295-0270 E-mail chizai@ikic.or.jp
https://chizai-portal.inpit.go.jp/madoguchi/kagoshima/

ご注意

- 窓口支援担当者は、調査や出願等書類作成の代行はできません。
- 専門家による相談は原則中小企業、個人事業主、創業予定の個人を対象としております。
- これらをご了承のうえ、ご利用ください。 ※秘密は厳守しますので、ご安心ください。



2024.2

工業倶楽部

KAGOSHIMA INDUSTRIAL CLUB



鹿児島県工業倶楽部新年大会 各種活動紹介
若手経営者紹介 トピック



感動をありがとう。

国体閉会式



障スポ閉会式



国体カヌー競技



障スポ団体競技(バレーボール)

公益社団法人
令和6年 鹿児島県工業倶楽部新年大会
 ◆日時 / 令和6年1月24日(水) ◆会場 / 城山ホテル鹿児島(クリスタルガーデン)



岩元 正孝会長



佐野 輝学学長 (鹿児島大学)



宮原 隆和氏 ((株)エルム)



前津 晋也氏 ((株)サナス)



渡邊 ゆり恵氏 (JICA九州)



新村 孝善氏 (知財総合支援窓口)

会員の交流、資質向上のために毎年実施されている「工業倶楽部新年大会」が1月24日(水)に鹿児島市内のホテルで、約100名が参加して開催されました。新年大会の恒例の講演会は、(株)エルム 宮原隆和代表取締役を講師にお迎えし、「大阪城、熊本城の電照や銀座駅、銀座のブランドショップを彩るエルム関連会社の戦略とゼロから1を生み出す秘訣について」と題して、宮原社長のこれまでの取組の足跡、そして銀座などを中心に整備された美しく多様なLEDの製品について、画像を見ながらたいへん興味深いご講演をいただきました。

プレゼンテーションでは、(株)サナスの前津様による油脂加工澱粉のご紹介、知財窓口の新村様による主要事業のご紹介、JICA九州の渡邊様によります海外ビジネス展開支援事業についてお話をいただきました。また、交流パーティでは、塩田知事にご参加いただき、活気ある新年大会となりました。



各種活動紹介

◆ 84 プラザ

第95回定例会は、「津貫発ウイスキーがジャパニーズウイスキー部門の最高賞を受賞」と題して、本坊昌嗣常務取締役は、津貫蒸留所で造られるウイスキーへの取組など、広い視点から様々なお話をいただきました。また、知覧蒸留所の沖園所長にもご出席いただき、参加者からのウイスキー製造に係る様々なご質問に答えていただきました。

第96回定例会は、「VR導入による教育体制の革新～技の伝承～」と題して、アサダメッシュ(株)鹿児島工場の松尾満彦工場長に、会社の概要・歴史、「メッシュ」の説明と用途、工程、技術の伝承について講演をいただきました。また平野副工場長、徳重室長にもご参加いただきました。県庁からの参加者もあり、大変貴重なお話を伺うことができました。



◆ 工農水産連携研究会 工農水連携 with 再エネ (指宿)

7月4日(火)

工農水産連携研究会では、山川地熱発電所の視察と、指宿で地熱を活用して、バナメイエビの養殖と農業に取り組む(株)シナジーブリーディング(指宿市西方)の現場を視察しました。

まずは発電所で、実際の機器類を見てタービンの回転音や蒸気を体感しました。3万kwを発電し、1万世帯をカバーしていることや、地中から地表へ地熱発電の仕組みを学びました。その後、中本代表取締役は、山川の農業現場と指宿市西方のバナメイエビの養殖現場を案内していただきました。もともと飲食業をされ、今はバナメイエビの養殖に注力されているとのこと。

農業は、温泉気化熱を活用してサクラボトマト等を栽培されていました。ハウス内は冬も地熱で暖かく、さらに事業拡張を図りたいとのこと。

養殖は、温泉を熱交換の過程で活用され、バナメイエビのほか海ブドウも開発されていました。

また、視察に参加していた会員企業との連携にも合意されました。事務局としては大変嬉しい出来事でした。



◆ 第84回 ベンチャープラザ鹿児島「二水会」 11月15日(水)

製品開発に伴い、資金面のサポートを得たい、業務提携先を探している面白い提案があれば提携したい、「二水会」はこうした悩みや希望を橋渡しする出会いの場を提供し、地方発ベンチャー企業の発展をお手伝いをしてします。

今回の発表は、下記の3社でした。会員の(株)中崎電子工業の中崎啓文社長からは力強い発表をしていただき好評でした。

- ① (有)エール[指宿市] オクラビューティプロジェクト
- ② (株)中崎電子工業[鹿児島市] 鹿児島で造る! FM送信機搭載臨時災害放送システムと難聴地域対策
- ③ (株)ウイズ鹿児島[鹿児島市] 鹿児島県の日本一の竹林である放置竹林を本気で宝にします

当日は、来賓に大塚副知事をお迎えしてごあいさつをいただきました。盛会となりました。



各種活動紹介

◆第13回 食と健康に関するシンポジウム

11月21日

包括連携協定を結んでいる鹿児島大学の南九州・南西諸島域イノベーションセンターと共同で開催しました。テーマは「鹿児島から発信しよう～美容と健康長寿～」。

基調講演の鹿児島大学大学院医歯学総合研究科西准教授からは、補綴（ほてつ）歯科の概要、4つの口腔機能（食べる、話す、表情、呼吸）、歯の喪失による体への影響、人の寿命、「噛めなくなる原因」「口が動かなくなるということ（口腔機能低下症への対応）」について講演をいただきました。

（有）エールの倉本様からは「オクラ」の機能性成分やその検証、米粉パン、さらには美容への取組についてお話があり、外国への販売、米粉、コーヒーへの関わり、指宿産品としての差別化など活発な質疑がありました。

会場エントランスホールでは、健康食品として注目を浴びている「エゴマ」の栽培、健康食品として近年注目を浴びる「セロビオース」の開発取組に係るポスターセッションを開催しました。

当日は会場・オンラインと合わせて約100名が参加し、盛況のうちに終了しました。



◆食産業部会

12月19日

合同会社地域のちから代表増原伸一様に「鹿児島から世界の食を考える」と題して、講演をいただきました。部会会長の（有）ふじさき漬物舗の藤崎茂美様が段取られ、久しぶりの開催となりました。豊富なご経験に基づく、普段聞けない貴重なお話をいただきました。



◆始良・霧島地区プラザ

7月6日

九州経済産業局地域経済課 須藤哲様を福岡からお招きして、「RESAS出前講座」と題してご講演をいただきました（始良公民館）。県地域振興局、霧島市、始良市、伊佐市地域の鹿銀・相信支店からも出席をいただきました。

「RESAS」はクラウド上のデータを活用して、地域経済分析を行うツールであり、地域経済や人口動態等の過去・将来の分析を行うことができます。今回は、霧島市ほか2市1町の合計データに基づく、人口動態等の現状や将来分析を行いました。

また、知的財産に係るミニセミナー、懇親会も開催しました。

各地区プラザ、部会で同研修をご希望であれば、事務局までお伝えください。

RESAS出前講座資料

始良市・霧島市・伊佐市・湧水町 地域

九州経済産業局 地域経済課

2023年7月6日



未来へ向かって!

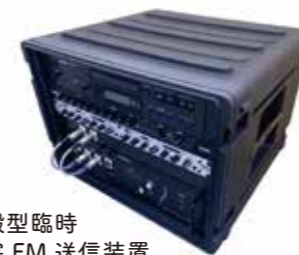
若手経営者紹介



ないものは技術で創る!

弊社は、昭和50年に機械いじりが好きだった現会長の父が創業いたしました。父の姿を見て子供心に、「いつかは父の跡を」と思っていたが、高校卒業後は絵画の勉強のために、スペイン・マドリッドに留学するなど、全く違う生活をしていました。両親には自由にさせてもらい、本当に感謝しています。現在は、2代目として空港関連無線施設の設置や撤去工事、FM放送局『FMぎんが』の運営、FMラジオ関係の機器開発および工事などを中心に事業展開しています。

うちの強みは、「ないものを技術力で創り出す」ということです。うちには営業部がありません。その代わりにお困りごとがあれば、自社の技術力を発揮し、要望にお応えするというをしてきました。『FMぎんが』も「送信機って造れない?」という相談から始まりました。そして今では、他ラジオ局から技術的な相談も受けるようになり、弊社の大切な仕事の一つになっています。中崎電子工業の“技術力”の仕事と『FMぎんが』の運営という“クリエイティブ”な仕事は、全く違うように感じられると思います。ですが「他ではないものを創り出す」という点では一緒なのかもしれません。ラジオでも、パーソナリティの方と「他



可搬型臨時災害FM送信装置



コミュニティFM用20w送信機



ギャップフィラーシステム



局にはない番組作りをしていこう」と話をしています。最近の製品として、『可搬型臨時災害FM送信装置（災害発生時に使用できる可搬型のFM送信機）』や『電波見える化大作戦（臨時災害放送局の放送範囲を専用車で測定し、難聴エリアを詳細に特定するサービス）』など災害発生時に活用できる機器の提供も行っています。これは、航空無線関連の技術やFM放送局を運営していることによって得た、うちだからこそできる技術の賜物です。

今後は、コミュニティFM局同士の横の連携を活かした情報収集を行い、各自自治体に合った防災対策などの提案をしていきたいと思っています。また、私は絵（水彩画やイラストなど）を描けるので、中崎電子工業が持つ技術力と、自身のスキルを掛け合わせ、化学反応のように新しいものを創っていったらいいですね。



「FMぎんが」オンエア中

株式会社中崎電子工業

鹿児島県鹿児島市新栄町18番27号

代表取締役社長 中崎 啓文

会員企業 TOPIC

◆『エコでタフ！破竹の竹紙物語』TVで放送（協業組合ユニカラー） 1月21日

MBCの日曜日午前10時15分から放映されている「世界の九州が始まる！」で協業組合ユニカラーの竹の新たな活用への取組が放映されました。

鹿児島県は、竹林面積全国1位ですが、有効活用も課題となっています。そこで協業組合ユニカラーは「竹100%の紙」を使った製品づくりに取り組み、ノートや、「竹紙ストロー」を商品化しました。

そして2023年には、竹チップの製造工程で出てくる「竹くずの再資源化」のため、インキ会社と共同で日本初の「バンブーインキ」を開発されました。

竹の需要掘り起こしと放置竹林対策に繋がるもので、高い評価を得ています。

「竹の需要を掘り起こし、自然環境を守るにつなげたい」と岩重昌勝代表理事がコメントされました。



◆宮崎銀行ふるさと振興助成事業の受賞『オンリーワン・ナンバーワン食肉機械の開発』（マトヤ技研工業(株)） 12月15日

マトヤ技研工業(株)は、一般財団法人みやぎん経済研究所が実施している「2023年度宮崎銀行ふるさと振興助成事業」の助成先に決定しました。鹿児島県の産業開発部門で唯一の受賞となりました。同助成事業は、宮崎県と鹿児島県で実施されています。

5年ほど前から食肉センターの自動化プラントの設計・施工に乗り出し、最近では奄美大島で豚と山羊の食肉センターが完成、3月から稼働します。宮崎県西都市ではハラル対応の牛の食肉プラントが2月から稼働しています。

また、第9回ものづくり日本大賞では鶏のぼんじりの自動脱骨・カット機で九州経済産業局長賞も受賞しました。

おめでとうございます。



◆世界初！本物のドローンをAIで3D化した高精細空中映像を自由自在に操作（インターマン(株)） 5月15日

明るい場所でもクリアな映像を空中に表示し、自由自在に動かすことができる空中コンピューターを開発されました。

独自のチューニング技術により明るい場所でも鮮明に映像を映し出し、かつ3次元センシング技術との連動により手で触れたオブジェクトを自由自在に動かすことを可能にした全く新しい映像デバイスです。様々なシーンを創出できるため、これまでにない映像表現の世界を実感できます。

将来的には広告配信も含めたコンテンツプラットフォームの開発、宇宙船のコックピット内などでの活用も視野に入れています。

JR鹿児島中央ビルの新オフィスには、1メートル四方の空中コンピューターを設置し一般公開の予定です。

ご関心があればお問い合わせを。



事務局 TOPIC

「会員向け補助金採択を目指す研修会」開催

工業倶楽部特命委員会では、各種補助金の申請を行うときに、申請書の記載の仕方が今ひとつわかりにくい、といった声に対応すべく、「補助金採択を目指す研修会（補助金申請のポイント）」を開催しました。

研修会の素材としたのは、県の「かごしま中小企業DX推進事業費補助金」、国の「事業再構築補助金」、「ものづくり補助金」です。いずれも中小企業に対する今年度の代表的な補助金です。

県の「DX補助金」、国の「ものづくり補助金」は来年度も継続、「事業再構築補助金」は内容の見直しが行われるようです。

これからも継続して取り組む見込みです。

【8月16日、10月16日】

…「かごしま中小企業DX推進事業費補助金申請のポイント」

【11月6日】

…「事業再構築補助金、ものづくり補助金申請のポイント」



知事・鹿児島大学学長を表敬訪問

1月9日

正副会長で、新年のあいさつで、県知事、鹿児島市長、鹿児島大学学長、南日本新聞社、産業支援センターを表敬訪問しました。

元旦に発生した能登半島地震への対応などが話題となりました。引き続きの工業倶楽部へのご理解・ご支援をお願いしました。



鹿児島県知事とともに



鹿児島大学学長とともに

知財トピック

（公社）鹿児島県工業倶楽部と（独）奄美群島振興開発基金は、知的財産の活用促進に関する包括連携協定を締結しました。商標や特許などに関する手続きや事業の紹介、専門家派遣などを推進します。

工業倶楽部では、経済産業省・特許庁が所管する（独）工業所有権情報・研修館（INPIT）が各県に設置する「知財総合支援窓口」事業を担っています。

製品やサービスの知名度向上や差別化、ブランド化などに繋がりますので、ご関心があれば、ご連絡をお待ちしております。（099-295-0270）

